

組合基本方針

組合の団結と調和

たんぽぽ計画 優良事業所見学

有限会社長浦製作所 長浦謙太郎

2月4日にたんぽぽ計画 優良事業所見学により、浦安鉄鋼団地を訪問いたしました。

浦安鉄鋼団地は、第一団地と第二団地に分かれており、それぞれ昭和43年と54年からの歴史がある団地です。事業所も270社が存在し4,200名の就業者がいるとのこと。国内鋼材出荷量の8%程度を扱い、鉄鋼流通基地として日本最大規模になるそうです。

流山工業団地とは異なり、同様の素材を扱い、加工方法や加工工程の違いにより、共存共栄をはかっている工業団地でありました。浦安市は農地が全くないという特異な環境が証明するとおり、国の政策といち早くマッチングして、埋め立てを実施、地の利、環境配慮と交通の便を最大限に生かして作り上げた工業団地であり、そこには今の日本の政治では考えられないスピードと実践があったのだらうと思います。現在の日本の政治を思うと嘆かわしい限りです。

事業所の数が多いこともあり、組合としての活動も盛んで、各企業より24名の理事を選挙で選出し、美化・交通対策・労働安全等6つの委員会を事業運営しています。各社が持ち回りで、クリーン大作戦や交通安全・労働安全パトロール等の活動をしており、今回のたんぽぽ計画もその労働安全委員会の取り組みで活用されたとのこと。

数ある事業所の中、明治鋼業様を訪問いたしました。照明の変更や、安全柵の設置、壁や柱の色、定物定位や足場の強度改善など、様々な視点からのチェックと提案により、改善を繰り返し、労働環境は大きく良化しているとの説明でした。団地内の企業においても、組合の安全管理などの事業に対し温度差はあるとのことでしたが、さすがに優良企業だけあり、従業員も安心して働ける作業環境であると感じました。

この大きな不況の中、ほしい物を一括で入手できる、同業であるため設備のシェアリングができる等の工業団地としてのメリットを生かし、各企業生き残りを図っていくとのことでした。私達流山工業団地も成り立ち方は違いますが、この未曾有の不況の中、各企業間で情報の共有や、共同開発等、何かしらの協力関係が生まれ、少しずつでもお客様のニーズに、より幅広くお答えすることができる工業団地として評判を作れればと思いついたりもします。厳しい情勢ですが、皆さん頑張ってください。



年度方針

経営革新に取組み発展基盤を強化
後継者の育成
組合課題取組の具現化

23年問題 先行工業団地を訪問して

(有)バリューコンサルティング
安藤 孝

流山工業団地の各企業は平成23年3月をもって、懸案であった高度化資金の償還を完了します。平成20年度組合事業として23年問題研究会を立ち上げ、償還完了後の土地・建物の所有形態のあり方及び組合のあり方を検討してきました。この研究会活動の一環として、先行して償還完了した3組合からヒアリング調査を行ないましたので、ご報告をいたします。

一番目は川越工業団地協同組合です。平成21年2月3日熊本理事以下8名で訪問しました。この組合は埼玉県が開発した工業団地の中で、高度化資金を活用したい22企業が集まって昭和52年に組織した組合です。償還完了後も一部企業を除いて組合名義のまま継続し、主に金融事業を中心に活動してきたところが特徴です。組合の成り立ちや組織構成は当組合と異なりますが、組合名義のまま運営したモデルとして参考になりました。平成21年3月に上部組織である川越東部工業会協同組合に一本化するため、川越工業団地は解散されるそうですが、解散に際し、組合員名義に登記変更されました。



川越工業団地協同組合

二番目は清水港木材団地協同組合です。2月9日に高橋理事長、菊地副理事長、熊本理事以下10名で訪問しました。昭和37年組合設立で、高度化資金活用の初期の組合です。現在は土地・建物共に、組合員名義になっています。松澤専務理事からは所有形態、金融事業、登記変更の詳細な注意点などをお聞きすることが出来ました。特に不動産取得税の納付に関して貴重なお話を伺いました。

三番目は、磐田さぎさか工業団地協同組合です。清水港木材団地協同組合と同じ、2月9日清水港木材団地協同組合と同じメンバーで訪問しました。周辺の自動車産業関連の中小企業22社が集積した工業団地



清水港木材団地協同組合

です。組合は昭和61年設立し、平成14年に組合員名義に登記変更しました。この組合はその成り立ちや規模が流山工業団地協同組合と類似しており、大杉専務理事から、金融事業、青年部強化事業など償還後の組合運営について貴重なお話を伺うことが出来ました。



磐田さぎさか工業団地協同組合

「たんぽぽ十画 安全義務に関する講習会」

に参加して

サンコーテクノ株式会社 臼井 昭博

現在、私は総務の仕事をしている中で、安全衛生委員会の委員として活動しております。先日ある営業所へ安全パトロールに行った際、指差し呼称の話題になった折に、「絶対に間違っはいけない場面」では無意識のうちにも指差し呼称をしているという話が出てきました。

荒木先生の講習の中にも目、腕、指、口、耳を総動員という言葉がありましたが、ただ形を『真似る』だけでは役に立たないことも社員の経験からも分かります。

今回の『企業の安全配慮義務』については会社としては絶対に疎かにしてはいけないテーマです。万一労働災害が発生した場合、怪我をした本人が一番辛いでしょうが、会社も大きなダメージを受けてしまいます。努力義務とは言え、損害補償の対象にもなり、また最大のダメージは社会的信用の失墜を招きかねません。どんな言い訳をしても失った信用は戻りません。

それを考えるにつけ危険への感性を磨くことの重要性を認識させられます。

当センターは物流がメインの事業所でフォークリフト、トラックが頻りに動いている中で作業をしています。それが当たり前になっているので接触等の事故と隣りあわせであることを意識していません。意識レベルの5

段階を考えると大部分の時間帯が『フェーズ』の中で動いているように思います。

だからこそこの状態で事故を起こさないためにどのような対策を取るかを真剣に勉強しなければいけません。衛生管理の勉強の中に出てくる『作業環境管理』が重要という考えと全く同じです。

今まで大きな事故・災害は経験していませんが、今後も経験しないよう安全への感性を磨きたいと思います。



外国人研修生

合同研修受講式

2月9日に上海より中国人研修生3名が来日し、合同研修を行なっている栃木県小山市にあるティビィシー国際外語学院において受講式を2月12日に行ないました。

まず、組合より3年間日本で安全に研修をし、無事に家族の許に帰れるよう組合としてできる限りの支援をすること、これから1ヶ月間で日本語を勉強してもらい流山に来ることを待っていることを伝え、受入企業よりこの1ヶ月間で日本語及び日本の生活に慣れてもらい、流山で会えるのを待っているとの歓迎の挨拶が行なわれました。

研修生より代表者が、研修生としての決意が日本語で発表され、日本語でかかれた原稿をびっくりするほど上手に読んだのでその場にいた日本人が全員、2日間の練習でこんなに上手に読めるのかと驚くほどでした。

受講式後、学院近くの中華レストランで昼食をとり、必要な物、日本でいきたいところなどの話しをし、1ヶ月後に日本語がうまくなっていることを楽しみに学校をあとにしました。



事務局だより

- 2月 3日（火） 23年問題研究会視察 [川越工業団地（協）]
2月 4日（水） たんぼぼ計画 優良事業所見学
浦安鐵鋼団地（協） 明治鋼業株
2月 9日（月） 23年問題研究会視察
[清水港木材団地（協） 磐田さぎさか工業団地（協）]
2月20日（金） 青年中央会千葉県大会
2月26日（木） たんぼぼ計画 職長教育
27日（金）
3月 3日（火） クリーンデー

平成13年に外壁塗装を行ってから8年が経過し、外壁にひび割れが発生したことから外部の点検を実施してもらったところ、外壁のひび割れは雨水が浸入すると悪影響があることや、屋根の塗装も傷んでいるとの報告を受け、屋根、外壁の塗装工事を行い組合会館のお色直しが2月13日に完了しました。



組合の車として平成4年から約17年間も大活躍をしましたタウンエースも各部が疲れてきたこともあり、とても程度のいい中古の出物がありウィングロードに変更となりました。

編集後記

寒さも日増しに和らぎ過ごしやすい季節になってきました。花粉症の人にとっては辛い季節かもしれません。年々増加傾向にあり、日本国民の4人に1人が花粉症だそうです。数多くの花粉症対策がでておりますが、何が一番効果あるのでしょうか？近頃では、年間を通し室内で花粉症の症状が発生する人もいます。これは、室内に入り込んだ花粉が、埃と一緒に蓄積されているからだそうです。掃除機で掃除をする場合、掃除機の排気で花粉が室内に舞ってしまうため、除去できない事がある

そうです。そのため、掃除機を使用する前に濡れ雑巾などで掃除をすると花粉が除去できるそうです。室内で過ごす時は花粉症から開放されたいものです。

これから行楽地などへ出かける機会も多くなると思います。花粉にまけずに外へでてリフレッシュしましょう。

遠藤 佳男

流山工業団地協同組合

編集・発行：青年部

〒270-0107 流山市西深井 1028-46

電話 04(7153)3001